

## (2) 確かな学力の育成

### ICT機器を活用した授業の推進



平成26年度より3学級に1セットの割合でタブレット端末を配備し、全国に先駆けてICT教育の実践に取り組んできました。いよいよ令和5年度を目途として、**児童生徒一人ひとりに学習者用端末**が配備されます。Society 5.0時代を生きる子どもたちが、文房具のひとつとして端末を使って学習に取り組むことができるよう、「1人1台の端末配備」を草津市にとっての新たなステージととらえ、本市ICT教育の推進を加速化させていきます。

### 「草津型アクティブ・ラーニング」による授業改善

#### 草津型アクティブ・ラーニングの基本的学習スタイル



すべての子どもたちに確かな学力を育成していくため、「草津型アクティブ・ラーニング(※)」による授業改善を推進しています。  
※草津型アクティブ・ラーニング：学習環境のユニバーサルデザイン化を基盤とし、アナログとデジタルを融合させて行う、主体的で協働的(対話的)、問題解決的な学習のこと。

#### ICTを活用したハイブリッドな学習

##### アナログ

ノートや黒板を活用して行う従来からの学習スタイル



##### デジタル

電子黒板やタブレットPCなどのICTを活用した学習スタイル

#### 主体的な学び

#### 協働的な学び(共に活動し、話し合う)

#### 問題解決的な学び(課題を広げ、深める)

#### 学習環境のユニバーサルデザイン化が基盤

### プログラミング教育の実施

平成26年度よりプログラミング教育の実践を積み重ねてきており、これまでの成果をもとに、**プログラミング教育「草津モデル(草津市プログラミングモデルカリキュラム)」**を作成しました。小中学校で「草津モデル」にもとづいたプログラミング教育カリキュラムを作成し、実践していきます。

また、平成29年度から人型ロボット「Pepper」を活用したプログラミング教育に取り組んでおり、「草津市プログラミングコンテスト」を開催しています。令和2年度からは、「Pepper」の活用を**全20小中学校に拡大**します。その他、**ドローンの活用**、企業や大学との連携などをおして、子どもたちのプログラミング的思考の育成・向上を図ります。



※草津市はソフトバンクグループ「Pepper社会貢献プログラム」に参加しています。

## 遠隔授業の実施

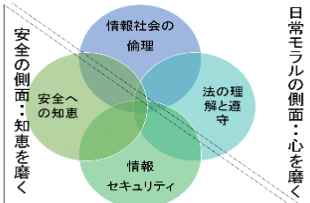


ICT機器を利用し、「テレビ会議システム」による**遠隔授業(※)**に取り組んでいます。

※ 遠隔授業：学校と遠隔地等をインターネット回線をつなぎ、ライブでの映像や音声のやりとりを通して交流したり、理解を深めたりする学習形態の一つ。

## ICT情報モラル教育の実施

小学校 タブレットのアプリを使った体験的学習



中学校 携帯やパソコンなどを賢く安全に使うノウハウを学ぶ



インターネットを使用する時のルールやマナー、正しい情報の取り扱い、発信の方法や、健康被害などについての知識理解を深め、情報通信機器を正しく安全に使用するための「**情報モラル教育**」を、小学校低学年から段階的に実施しています。

中学校では生徒会が中心となり、「スマホルール」を策定し、啓発に努めています。

## 「学習・情報センター」としての学校図書館の活用



学校司書によるレファレンスや授業支援を活用して、学校図書館の「**学習・情報センターとしての機能**」に力を入れています。

また、公益財団法人図書館振興財団主催の「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを導入し、身近なことに課題を見つけて資料・情報を収集し、資料を読み解く力や複数の情報を目的に応じて活用する力を育成するとともに、レポートにまとめ、よりわかりやすく伝えるための表現の工夫ができる機会とします。

## 学校図書館の充実

学校司書、学校図書館運営サポーターの配置等、学校での読書環境の整備充実を進めています。また、**学校図書館ボランティア交流会**を実施し、ボランティアの方々の活動に役立つスキルアップ講座を開催します。司書教諭をはじめとした教員や学校図書館に関わる関係者が連携をすることで、学校図書館が毎日開館されるように努め、学校図書館の「**読書センターとしての機能**」を充実させ、読書が好きな子どもを増やします。



## 市立図書館との連携



小学校では、**巡回図書「ブックン」**を読書や調べ学習等に活用しています。また中学校では、図書館司書による「出張ブックトーク」を依頼し、子ども読書活動推進に役立っています。

その他、図書館見学、中学生チャレンジウィーク（職場体験学習）、団体貸出など市立図書館との連携を積極的に進めています。

## 「ビブリオバトル」の開催



読書への意欲を高めるため、学校の授業などで「ビブリオバトル」(※)を取り入れ、立命館大学(BKC)と連携して、市内でビブリオバトル大会を開催しています。

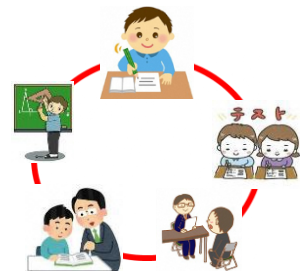
また、中学校では、自分のお気に入りの本を英語で紹介する授業に取り組む中で、みなくさまつり内の**ビブリオバトル英語の部**に中学生も積極的に参加していきます。



※ビブリオバトル(書評合戦)：競技者が自分の好きな本を持ち寄り、その魅力制限時間内で紹介し、聞き手が最も読みたいと思った本を選ぶゲーム形式の書評発表会のこと。

## 子どものつまずき発見・克服事業

新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びによる学力の向上をめざして、**中学2年生を対象とした共通テスト**により、個別の学習上のつまずきを発見します。個票を基に担任との個別教育相談を実施して、一人ひとりに補充プリントを使った学習支援を行うことで、学び方を身に付けるための支援をします。さらに、県事業「学びの基礎ステップアップ事業」や全国学力・学習状況調査と組み合わせて、市全体の学びのサイクルを作り、中学生の学力向上につなげます。

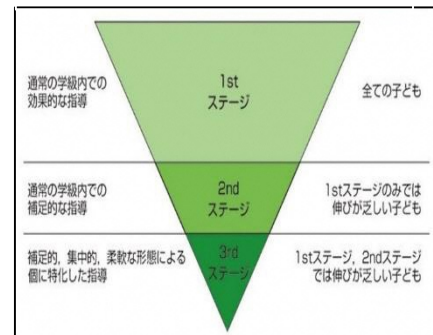


## 学習につまずく児童の早期把握・早期支援

低学年の段階で学習につまずく児童を適切なアセスメントで早期に確実に把握し、効果的な指導を行うことで、全ての児童の学習の基盤となる「読み」の力の向上と、特別な支援を必要とする児童への効果的な支援を図ります。

学習指導法については、多様な学習形態を用いるとともに、**多層指導モデル(MIM)** デジタル版を導入し、本市の強みであるICTを活用します。

多層指導モデルMIM 概念図



## 家庭学習の充実

小学校に教員OB等による**家庭学習サポーター**を配置し、家庭学習用プリント・自主学習ノート・作文の添削、児童の家庭学習に係る課題の分析・助言等を通じて、子どもたちの家庭学習を充実させ、学力向上を図るとともに、教員の負担も軽減します。



I 学校教育充実プログラム  
ムとは

II 草津の子どもたちの今!

III 草津市がめざす教育

IV 草津の学校 教育の強み

V 成果指標

## 漢字検定・英語検定の実施

基礎・基本の定着を図り、自律的な学習習慣の形成と学習意欲の向上を図るとともに、目標に到達する喜びを味わえるようにするため、2つの検定事業に取り組んでいます。

- **スコア型英語4技能検定**・・・「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の英語力を測る検定事業を中学校の全学年で実施し、検定スコアをもとに生徒が自分の英語力の成長を実感できるようにしています。
- **漢字検定**・・・小学4～6年生を対象として、児童が自らの習熟度に応じて希望する級の検定を受けるようにし、受検日までの期間の学習で、目標を意識し、より学習意欲を高めることができるようにしています。



## 放課後・土曜日の学びの推進



家庭の理由や社会的な状況にかかわらず、学習習慣や基礎的な学力をしっかりと身に付けるため、**学びのセーフティネット**づくりを推進しています。小学1年生から3年生までの子どもを対象に、「**放課後自習広場**」を市内すべての小学校で開設しています。また、小学4年生以上を対象に、平日の放課後や土曜日に「**草津市学びの教室**」を市内6会場で開催し、子どもの学びを充実させています。

## 英語教育の推進

草津市の英語教育の方向性を示した**英語教育ステップアッププラン(令和元年度策定)**を作成し、小中学校における英語教育のさらなる推進と子どもたちの英語力向上を図っていきます。

- 日本人英語指導助手 (**JTE**)、外国人英語指導助手 (**ALT**) を各校に配置
- 小学校から中学校への円滑な接続を図るため、各校区内の教員の授業交流や小中連携を図った授業実践の推進
- 子どもの言語活動の充実をめざした**オールイングリッシュでの授業展開**
- 中学校におけるタブレットPCを活用した**英語プレゼンテーション活動**
- 小学校における遠隔によるネイティブスピーカーとのコミュニケーション活動 (**英語教育オンライン授業**)
- その他、ICT機器を積極的に活用した言語活動の授業実践



## 国際理解教育の推進



立命館大学びわこ・くさつキャンパスや草津市国際交流協会と連携を図りながら、市内小中学校において、**留学生や外国の人々との交流活動**を推進しています。



## 2 学校の教育力を高める

### (1) 教職員の指導力の向上

#### 草津市教職員研修講座の開催

教職員の資質向上を図るとともに、教育の今日的課題に対応するため、**各種研修講座**（人権教育、教科教育、生徒指導・教育相談、特別支援教育、道徳教育、英語教育等）や**自己啓発講座**を開催しています。



#### スキルアップアドバイザーによる指導

教員OBのスキルアップアドバイザーが市内小中学校を訪問し、教員に授業づくりや学級づくり、タブレットPCの活用等に関する個別指導を行うとともに、授業研究会を通して学校全体での指導力の向上をめざす「**スキルアップ事業**」を実施しています。また、人型ロボット等を活用したプログラミング教育の推進に対してのアドバイスも行います。



#### 草津市教職員教科等部会別研修会の開催

教職員の資質向上と教育の充実・発展を図るため、市内の全教職員が、各教科等、生徒指導・教育相談、人権教育、特別支援教育、養護、事務など20の部会に分かれて、**授業公開や研究会、講師を招いての研修会**などを実施しています。



#### 草津市教育研究奨励事業の実施

教職員・保育士の自発的な研究活動の促進を図るため、**個人または共同による研究**を奨励しています。優秀な研究に対して表彰し、翌年度の研究発表大会で成果報告を行います。



#### 教育情報化リーダー養成研修の推進

ICTを活用した分かりやすい授業を展開するための手法や、特色ある教育課程の編成、学校課題の解決をするためのICT活用等、教育の情報化を推進し、教育の質の向上をめざした校内研修をマネジメントする教育情報化リーダーを育成するための研修を、年間7回実施します。



#### 学力向上マネジメント会議の実施

各校の**学力向上マネジメントリーダー**が、それぞれの学ぶ力向上策の交流と推進を図り、より効果が期待できる学力向上マネジメントを実践して、市内全小中学校の学力の向上を図ります。



## 草津市教え方改革セミナーの実施

市内小中学校の教員を対象に、新学習指導要領がめざす主体的・対話的で深い学びの実現のために、草津市学校教育令和の四改革のうち、「**教え方改革**」に焦点をあてた教員対象のセミナーを年2回実施し、教員の指導力の向上に努めています。



## 教職員の健康管理と働き方改革の推進

教職員のための出退勤カードの導入、校内電話への自動応答メッセージの設置、会議資料のペーパーレス化、テレビ会議システムの導入等、業務改善に取り組み、子どもたちと向き合う時間や授業研究・準備の時間を確保し、また、教員自身の健康増進のため、長期休業中の「学校閉庁日」の設置による年次有給休暇の取得を促進する等、**ワークライフバランスの推進**に努めています。

